

利用調整の方法

利用調整に係わる事項の発生例は、下表のとおりです。

公園内でのゴルフの練習、利用者の多い場所での犬の放し飼いなど、周囲に危険を及ぼす行為については、禁止看板の設置及び巡視時の指導で対処するほか、啓発によるマナーアップを図ってください。

それぞれの意見・要望に対してどちらが正しいとも判断できない事項については、当事者間の対話の推進、関係機関との連携、すみ分けの実施、原因の分析と発生局面の防止、情報発信による啓発等の対応を図ってください。

【利用調整に係わる事項の発生例】

項目	関係者	内容（主張）
外周の樹木 植栽の管理	公園利用者	緑陰や景観を提供する樹木は必要である
	公園管理者	緑は必要で、それも本来の樹形を維持、伸長させたい
	警察・周辺住民	日照障害や落葉処理で困るため撤去か強剪定を見通しが悪く、防犯・交通安全上の面から撤去を
犬の散歩	犬の飼育者	公園しか犬を自由に散歩させられる場所がない
	一般利用者	リードを放されると子どもが怖がり、フンの始末も悪い ため困る
動物へのえ さやり	えさをやる人	かわいいからえさをあげたい
	一般利用者	カラスやハトが集まり、子どもが怖がる
運動広場の 利用	高齢者	ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しみたい
	青少年	キャッチボールやサッカーを楽しみたい
	一般利用者	小さな子どもを自由に遊ばせたい
	周辺住民	ゲートボールの早朝練習やバスケットゴールの夜間練習は騒音になる
楽器の演奏、 カラオケ	一部愛好家	楽器の練習やカラオケをしたい
	周辺住民・一般利用者	騒音になる
夜間の公園 利用	青少年	夜でも自由に遊べる場所は公園だけ
	公園利用者	花火などができる広い場所は公園だけ
	周辺住民	風紀が乱れたり、ごみの散乱や騒音が発生する
スケートパ ークの整備	青少年	ほかにできるところがなく、公園にぜひ欲しい
	公園利用者	小さな子どもに危険であり、不必要
	周辺住民	広域から青少年を呼び込み、騒音もあるため不必要
多目的トイ レの整備	障がい者・福祉部局	社会参加や公園利用を進めるうえでぜひ必要
	一般利用者・周辺住民	必要性はわかるがホームレスの滞留を招き、利用できない ぐらいなら不要